

国立病院機構関東信越グループ

国立病院機構 横浜医療センター附属横浜看護学校

教員募集



横浜看護学校の教育

医療の専門化・高度化に伴い、看護師の果たす役割はますます大きくなり、看護基礎教育の充実が求められています。

国立病院機構関東信越グループでは、国立病院機構附属看護学校 9 校が統一カリキュラムで運営されています。また、講義・実習での学習内容は、母体施設や近隣の実施施設の国立病院で行われている医療・看護の特徴を取り入れた質の高い教育を実践しています。

国立病院機構附属看護学校の教員は、附属看護学校において、看護師として必要な知識・技術を教授し、自ら考え行動し、国立病院機構及び社会に貢献できる看護師を養成する重要な役割を担っています。

横浜看護学校では、地域に密着した横浜医療センター（母体施設）のほか、神奈川県内の国立病院機構4施設を中心とした臨地実習により、国の政策医療を担う政策医療看護を実践できる看護師の育成を目指しています。

所在地

国立病院機構
横浜医療センター附属横浜看護学校
〒245-0063
横浜市戸塚区原宿 3-60-2
Tel : 045-853-8322
Fax : 045-853-8348



教員募集要項

応募資格	次のいずれかに該当する方 ① 看護教員養成講習会を修了又は修了見込みの方 ② 臨床経験5年以上で、大学において教育に関する科目を履修して卒業した方、または大学院において教育に関する科目を履修した方
応募方法	随時受け付けます。次の書類を郵送又はご持参下さい ① 履歴書（写真貼付） ② 看護師免許書の写し ③ 看護教員養成課程講習会修了書の写し（既修了の方） ④ 大学または大学院の卒業証書（大学院は修了書）と教育に関する科目履修証明書
医療保健・年金	国家公務員共済組合法に基づく共済組合に加入
給 与	独立行政法人国立病院機構の職員給与規定による
勤務時間	午前8時30分～午後5時15分 （勤務時間 1日7時間45分 週38.45時間）
休 日	週休2日制（土曜日、日曜日）、祝祭日、年末年始、年次有給休暇、特別休暇（夏季、忌引）等
勤務内容	横浜医療センター附属横浜看護学校において、教員業務に従事します
その他	随時、インターンシップを受け付けております。 ご希望の方は横浜看護学校までご連絡ください。

応募・問い合わせ先：

〒245-0063 横浜市戸塚区原宿 3-60-2
独立行政法人国立病院機構横浜医療センター附属横浜看護学校
TEL：045-853-8322 Fax：045-853-8348

〒152-0021 東京都目黒区東が丘 2-5-23
独立行政法人国立病院機構 関東信越グループ 医療担当
看護専門職
TEL：03-5712-3106（医療担当直通） Fax：03-5712-3112

横浜看護学校の特徴

～50年の歴史を土台に21世紀の看護師育成を目指して！～

横浜看護学校 50 年の看護基礎教育の歴史は、社会の変化と医療の変化に対応できる看護師育成の歴史であり、学生が創りだした看護の文化が受け継がれています。

国立病院機構の理念でもある「患者さんの目線に立って懇切丁寧に質の高い医療を提供できる」看護の実践者を育成しています。

「相手の尊重」や「思いやりの心」などの「看護の心」を育て、医療現場で活躍できる看護師を育成します。



教員が伝え、学生とともに育て、そして後輩へ伝統を受け継ぐ

「思いやりの心」「看護の心」

横浜医療センター附属横浜看護学校のカリキュラム

★ 社会の変化を敏感に取り入れた授業

注射の見学学習： 基礎看護技術「与薬」の授業講義～薬剤科見学

放射線の見学・検査室の見学：「21 世紀の看護師に求められる画像診断」

放射線科技師による特別講義と放射線科見学

災害看護：救命救急センターの医師、看護師の講義、実技指導

在宅のマナー：社会人の基礎編、在宅訪問時のマナー編、ビジネスマナー講座

在宅看護論実習：神奈川県内国立病院機構病院で地域連携の学習



基礎看護学(与薬)の授業で薬剤科へ



マナー講座

★実践能力向上へ向けた臨地実習指導体制

実習指導者会議の運営～学習会

実習指導者の育成へ向けた臨床との連携

～実習指導者研修～



実習指導者研修の場面

臨床と連携を強化した実習指導～



実習指導場面

専門性の高い医療・看護を提供している実習病院



相模原病院



横浜医療センター



神奈川病院



久里浜医療センター



箱根病院

★最新の設備・教材の学習環境～ 学習用シミュレーターやインターネット整備、専門図書を
活用した学習環境

フィジカルルーム、図書室の検索システム、視聴覚教材
の自己学習など

★「相手の尊重」や「思いやりの心」を育て、チーム力を強化する教科外活動

3学年交流会、学校祭、ボランティア活動（ペットボトルキャップ）、
学年を超えたスポーツ活動



在校生のイラスト

国立病院機構関東信越グループ看護学校教員への活動支援・研修制度

横浜看護学校では、看護教員として必要な「看護実践能力」「教育実践能力」「研究能力」「学校マネジメント能力」「キャリア開発の能力」の向上を目指し、「新人教員支援プログラム」や「教員の能力開発プログラム」などの研修プログラムがあり、先輩教員のフォロー体制のもと、自分の目標を明確にしながら、安心して教育活動を行える支援体制を整えています。

I キャリア開発支援システム

- ★能力開発プログラムを活用した支援
- ★新人教員育成プログラムを活用した支援
- ★教員研究グループ活動と2年に1回の発表会
- ★夏期研修会の講演とミーティング
- ★研究授業～グループ内の教員だけでなく他校の教員との研究授業の参加、ミーティングにより、グループ外の教員との交流を深め、自己の教育活動に役立つようしている。
- ★国立病院機構の研修～新人看護教員研修、幹部看護師候補者研修、
幹部看護師管理者研修Ⅰ～Ⅲ（臨床看護管理者と一緒に研修）
- ★個人の専門性向上への活動支援制度（研究助成金制度）

II 臨床との交流研修

- ★臨床研修～専門分野の臨床を体験することにより、講義・実習指導に活かし、専門性を高める研修制度
- ★初めての実習担当施設（病院、訪問看護ステーションなど）での事前研修

III 異動支援

施設内外での情報や看護の連携のみでなく、教員からグループ内の臨床へ異動できるよう人事面での連携をしています。

関東信越グループ内を問わず国立病院機構39の看護学校へ異動出来るよう人事面での連携をしています

先輩教員からのメッセージ

♡毎日、新たな学びがあります



横浜看護学校で教務助手として4年間勤務中に大学を卒業し教員となりました。看護師という素晴らしい職業を目指している学生たちの育成に関わることは、自分自身への成長にもつながります。1年生の担当をしていますが、毎日新たな学びがあり、とても貴重な経験をさせていただいていると思っています。また、同じ1年目の教員2名とともに、悩みなどを話し、楽しく仕事ができています。初めての講義ですが、実習指導を中心に校内実習や演習で学生と一緒に学んだ経験を生かしながら、学生と一緒に学んでいます。

♡学生の成長する姿から、やりがいを感じています

昨年は、教員1年目で1年生を担当しました。自分の看護学生時代や実習指導者の経験を思い出しながらの1年でした。初めての講義は戸惑いや緊張もありましたが、相談しやすい環境で、先輩教員に丁寧にご指導を頂き、無事に講義を終えることができました。

2年目になり、講義の方法や学生へのかかわりに戸惑ったり悩むこともありますが、学生が成長する姿をみる機会も多くあり、教育のやりがいや楽しさを少しずつ感じています。



♡臨床研修で、看護観・教育観が広がります



看護大学の卒業生ですが、臨床で看護学生の指導を担当して、教育に興味を抱きました。看護教員養成研修講習会を受講後、教員として3年目となります。大学での4年間という修業期間は違いますが、看護教育の基本や内容は同じです。学生一人一人の個性を大切にしたい教育の実践が目標です。横浜医療センターでの臨床経験はありますが、他の施設で実習担当をするときは、事前に臨床研修をおこない、学生に説明できるよう準備しています。臨床研修は、自分の経験していない看護を体験できる機会であり、看護観・教育観の広がりをを感じる研修です。

♡教員室では、意見交換が盛んです



国立病院機構関信グループ内の附属看護学校より転勤して3年目です。同じ大型の看護学校でも歴史や文化が異なりますが、看護を目指す看護学生の夢の実現に向かう姿勢は同じです。教員室の中は、意見を言いやすく、授業内容の検討、学生の指導方法など、新人もベテランもそれぞれの意見を言います。皆で協力し合って、学生を育てています。

♡臨床と学校の架け橋となるよう、実習調整をしています

臨床の看護師長を経験し、看護教育に関心をもち看護教員養成課程を受講しました。臨床では患者さんを通して学校では学生を通して多くのことを日々学んでいます。実習指導では、看護管理者としての経験を振り返りながら、患者さんと学生との関係づくりや、実習指導者と共に学習環境の調整を行いながら、実習が効果的に学べるように取り組んでいます。今年は、実習指導調整者と指導者会議の企画・運営を担当していますので、臨床の看護管理者の経験を活用し、臨床の思いと学校の思いの架け橋になれるよう調整をしていきたいと思えます。将来は、学校での教育経験を生かし、臨床での看護師教育を行っていきたいと考えています。



♡学生の「思いやりの心」の花を咲かせましょう



看護学校教員の魅力は、学生と共に学び自己成長を実感できることだと思います。

講義・実習での学生の素朴な疑問は、自分の疑問でもあり、学びのチャンスを与えてくれます。常に学生の若さとエネルギーを吸収しながら、看護教育の様々な場面にチャレンジできる職場です。私達も看護教員をサポートしながら自己成長し、キャリアアップへの支援を行います。

横浜看護学校で、看護学生の「思いやりの心」の花を咲かせませんか！